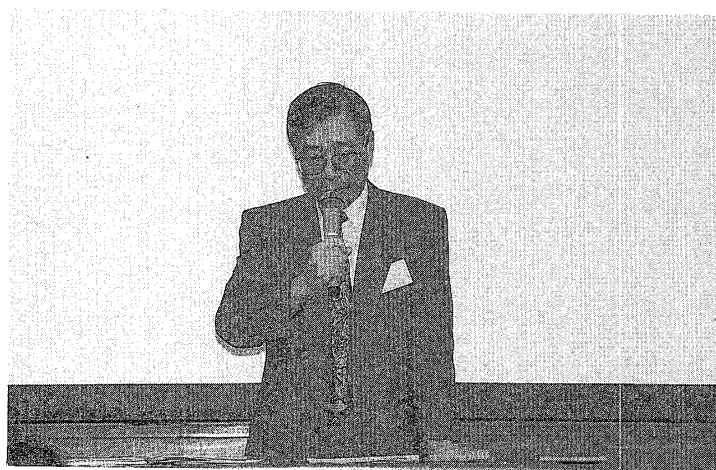


第39回粘土科学討論会報告

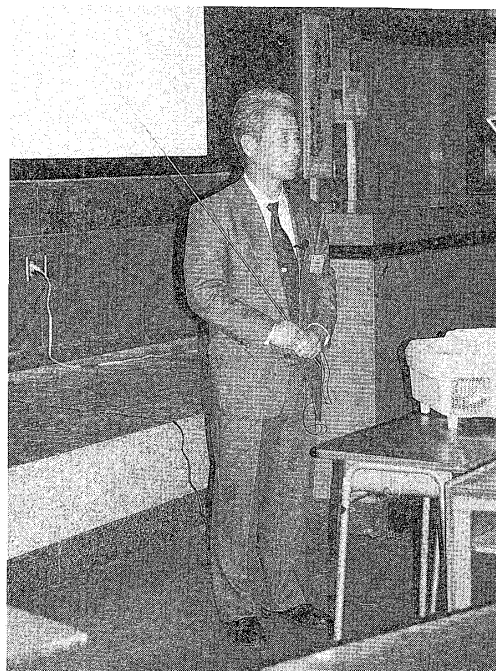
第39回粘土科学討論会は1995年9月28日から30日までの3日間、高知大学で関係委員各位の協力のもとに開催された。今回は160名の参加登録者があり、一般講演では口頭発表49件とポスター発表38件の研究成果が報告された。その抄録は本号に掲載されている。また、ベントナイト研究グループによる特定セッション「ベントナイトのこれからを考える」が開かれ、3ジャンル6名の研究発表と多数の参加者による自由討論が新しい試みとして好評であった。特別講演は高知大学山崎伸道教授が「水熱科学の進歩」と題して、水熱科学の基礎・応用分野について講演した。シンポジウムでは「粘土科学とマイクロ科学」のテーマで4名の研究者より最新の研究動向を交えて基調講演があり（粘土科学誌35巻3号に特集）、活発な討論が繰り広げられた。

なお、初日には立川涼高知大学長を招いて懇親会が開かれ、郷土色を配したアトラクションが披露された会場は110余名の出席者で盛況となった。2日目には総会が開催され、学会各賞受賞者の表彰が行われた。本年度の日本粘土学会賞の渡辺隆会員、同功績賞の小坂丈予会員、同奨励賞の宮脇律郎会員、同技術賞の豊順鉱業(株)応用粘土科学研究所（代表者：近藤三二会員）に青柳会長より賞状と記念品が授与され、併せて湊秀雄、江川友治、武司秀夫3会員の名誉会員表彰も行われた。最終日には高知県東部の安芸市へ、「四万十帯白亜紀付加体地質と内原野焼工場」の見学会が実施され、21名が参加した。

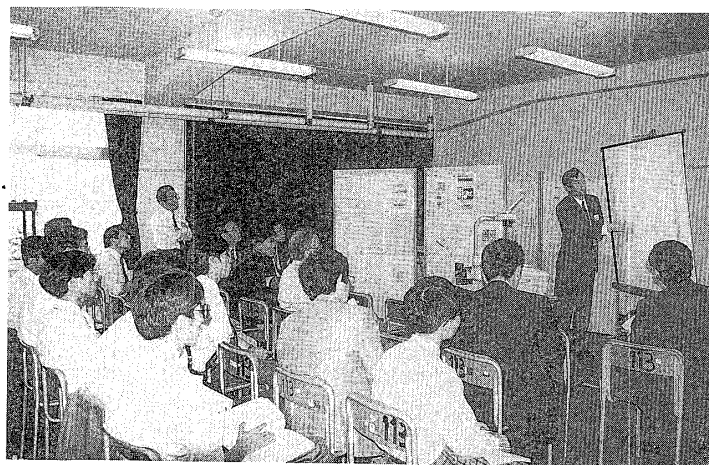
以上のように、3日間にわたる充実した討論会が開催できたのは、特別講演、シンポジウム、特定セッションで講演いただいた先生方をはじめ、討論会に参加いただいた大勢の方々のおかげである。また本討論会開催にあたり多大な援助をいただいたジャパンハイテック(株)、日本電子(株)、(株)大林組、豊順鉱業(株)、クニミネ工業(株)、日商岩井ベントナイト(株)、(株)リガク、(財)高知コンベンションビューローの関係者各位にも厚く御礼申し上げる。（東 正治）



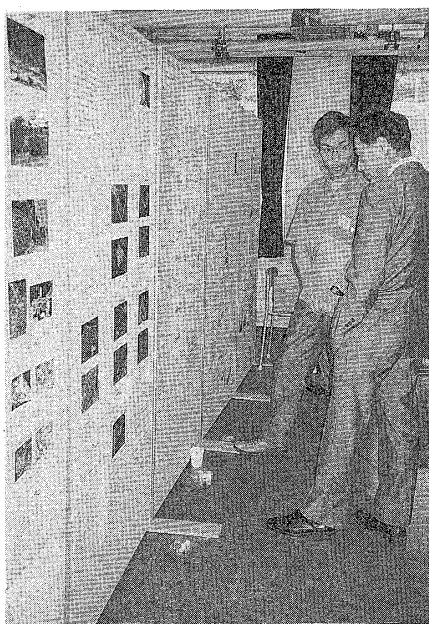
青柳会長の挨拶



山崎教授の特別講演



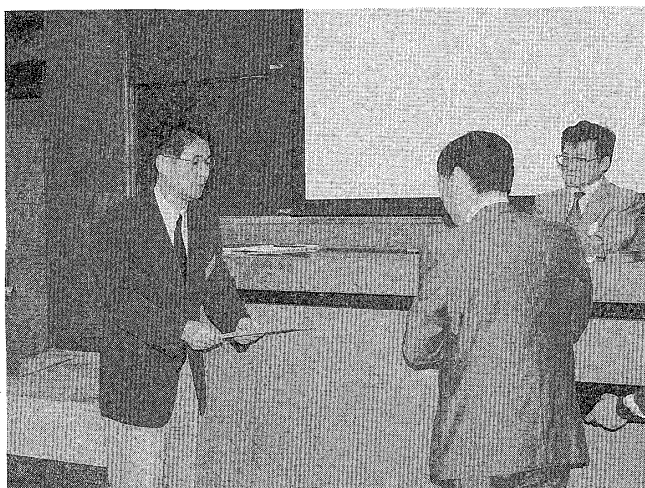
特定セッション会場



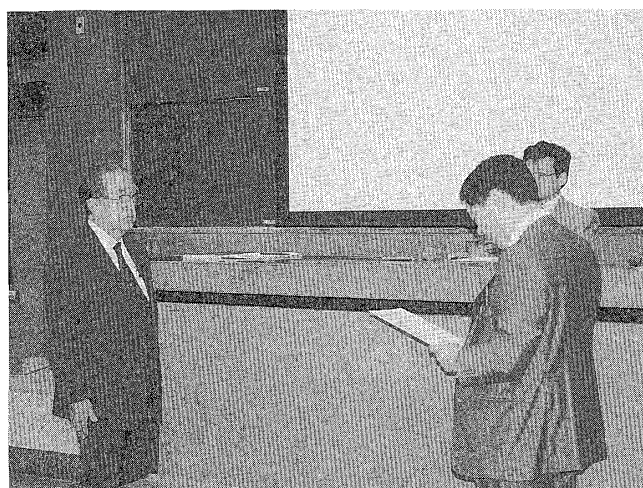
ポスター会場



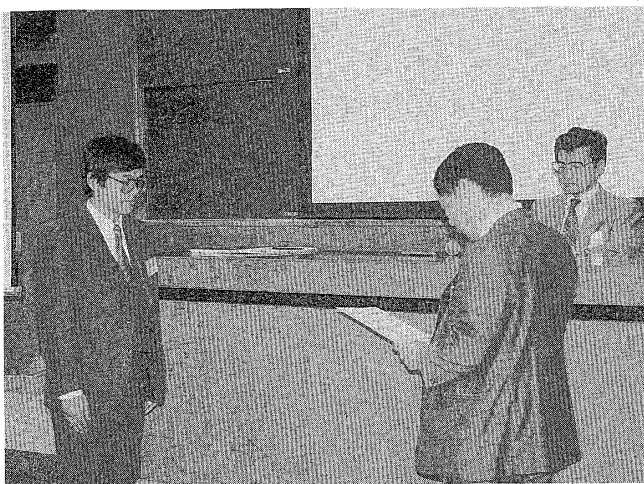
懇親会



渡辺会員，学会賞



小坂会員，功績賞



宮脇会員，奨励賞



豊順鉱業 近藤会員，技術賞